

高校地理プリント（過去問類似）  
人口・都市・生活文化 No.7

名前

得点

/10

問1 かつてサトウキビ栽培などのプランテーション農業の労働力として多くのアフリカ系住民が連れてこられたカリブ海地域やブラジルなどで多く見られる、ヨーロッパ系住民とアフリカ系住民との混血の呼称として最も適当なものを答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. メスチソ                      2. クリオール                      3. ムラート                      4. サンボ

問2 イギリスの一部であり、アイルランド島の北東部に位置する地域で、同国への残留を望むプロテスタント（主にイギリス系入植者の子孫）と、隣国への統合を望むカトリック（主に先住民系）との間で、長年にわたり激しい対立が続いた地域はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 東ウクライナ                      2. 北コーカサス                      3. 北アイルランド                      4. 沿ドニエストル

問3 アジア諸国のうち、近年、合計特殊出生率が1を大きく下回るなど極めて深刻な少子化が進行しており、人口ピラミッドの底辺が急速に縮小するとともに、今後は世界で最も急速な高齢化が進行すると予測されている国はどこか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 韓国                      2. 日本                      3. 台湾                      4. 中国

問4 西ヨーロッパの平野部において、中世以来の農業における共同作業の必要性や、外敵の侵入に対する共同防御の観点から、家屋が密集して形成された集落の総称を何というか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 散村                      2. 街村                      3. 路村                      4. 集村

問5 高度経済成長期以降の日本において、都市の急速な発展に伴い、中心部の地価高騰や環境悪化を避けるため、人口や産業が都市の周辺部へと拡大・移動した現象を何というか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 郊外化                      2. 都市化                      3. 副都心                      4. 過密化

問6 1990年の法改正以降、主に自動車産業や電気機械産業が集積する地域に家族を伴って定住する事例が増加した。そのため、他の主要な在留外国人と比較して男女比がほぼ均等であり、日本で生まれた子供を含む年少人口の割合が比較的高いという人口ピラミッドの特徴を示す、南米にルーツを持つ在留外国人の集団は何か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 在日ペルー人                      2. 在日ベトナム人                      3. 在日フィリピン人                      4. 在日ブラジル人

問7 人口動態やジェンダーに関する指標のうち、1人の女性が一生の間に産むと見込まれる平均子ども数を示す指標であり、ヨーロッパでは少子化を背景に2.0未満の低水準に集中する一方、アフリカでは多産を背景に4.0以上と非常に高い水準を示すものを何というか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 従属人口指数                      2. 老年人口比率                      3. 年少人口比率                      4. 合計特殊出生率

問8 かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史的背景から、キリスト教徒において特定の宗派が圧倒的多数を占めるのではなく、旧宗主国の影響を反映してカトリックとプロテスタントの信者数が拮抗している。また、伝統宗教と融合した独自の独立教会などの「その他」の宗派の割合も比較的高いという特徴を持つ、世界の広域地域（州）はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. オセアニア                      2. アジア                      3. アフリカ                      4. ヨーロッパ

問9 毎日5回、世界中の信徒がこの地の方角を向いて礼拝を行うことで知られるイスラム教最大の聖地であり、東経45度を基準とする標準時を採用しているため、日本（東経135度）が正午のとき現地時刻が午前6時となる都市はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. カルバラー                      2. メディナ                      3. エルサレム                      4. メッカ

問10 ヨーロッパ南東部のバルカン半島において、伝統的なキリスト教（カトリックや正教会）に加え、現在も一部の地域でイスラームが信仰される要因となった、14世紀以降にこの地域を支配したイスラーム国家は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. ビザンツ帝国                      2. フランク帝国                      3. オスマン帝国                      4. ペルシア帝国

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 ムラート	カリブ海諸国やブラジルなど、かつてアフリカからの奴隷労働力に依存したプランテーション農業が盛んだった地域では、ヨーロッパ系住民とアフリカ系住民の混血が進んだ。この混血はムラートと呼ばれ、地域の人口構成において重要な位置を占めている。
問2	答え 3 北アイルランド	17世紀以降のイギリスからのプロテスタントの入植により、先住のカトリックとの間で社会的な格差や対立が生じた。20世紀後半には武装組織によるテロを含む激しい紛争に発展したが、1998年の和平合意（ベルファスト合意）によって和平プロセスが進められた。
問3	答え 1 韓国	東アジアでは急速な経済発展や社会変化に伴い少子高齢化が進行している。特にこの国では、激しい受験競争や不動産価格の高騰、雇用の不安定化などを背景に少子化が極めて深刻化しており、合計特殊出生率は1を大きく割り込んでいる。これにより、人口ピラミッドは底が狭い「つぼ型」の傾向を強めており、高齢化率が急速に上昇することが予測されている。
問4	答え 4 集村	西ヨーロッパの平野部では、中世の開放耕地における共同作業（三圃式農業など）や、外敵からの自衛のために、家屋が1か所に密集して立地する集落が発達した。このような集落の形態を「集村」と呼ぶ。これに対して、家屋が広範囲に分散して立地する形態を「散村」と呼ぶ。
問5	答え 1 郊外化	都市の規模が拡大するにつれて、中心部の居住環境悪化や地価高騰を背景に、人口や住宅地、商業施設などが都市の周辺部（郊外）へと拡大していく現象を「郊外化」と呼ぶ。これに対し、近年見られる山間部への移住や古民家改修などの動きは、都市周辺部への拡大ではなく、地方の農山村への移動であるため「田園回帰」に分類され、郊外化とは区別される。
問6	答え 4 在日ブラジル人	1990年の入管法改正により、日系人が家族を伴って来日し、静岡県や愛知県、群馬県などの工業都市に定住した。家族同伴での来日・定住が多いため、単身の若者が多い中国人や、女性の割合が極端に高いフィリピン人などの他の在留外国人と異なり、男女比がほぼ均等で、子供の割合も一定数存在する人口構成（ピラミッド型に近い形）となっている。
問7	答え 4 合計特殊出生率	1人の女性が一生の間に産むと見込まれる平均子ども数を示す指標を合計特殊出生率という。ヨーロッパでは少子化や女性の社会進出を背景に、人口置換水準を下回る2.0未満の低水準に集中している。これに対し、アフリカでは伝統的な多産や乳幼児生存率の低さを背景に、4.0以上という非常に高い水準を示す国が多い。アジアは経済発展段階の多様性を反映し、国によって高低の差が大きく、中間的な水準に広く分布している。
問8	答え 3 アフリカ	かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の影響で、旧宗主国の宗教が伝播した結果、カトリックとプロテスタントがともに広く普及し、信者数が拮抗している。また、伝統宗教と融合した独自の独立教会などがその他に含まれ、その割合も高い。カトリックが圧倒的な地域は中央・南アメリカ、正教の割合が目立つ地域はヨーロッパである。
問9	答え 4 メッカ	イスラム教の創始者ムハンマドの生誕地であり、ムスリムが毎日5回行う礼拝（サラート）の方向（キブラ）となる聖地はメッカである。メッカが位置するサウジアラビアは東経45度を標準時子午線としており、東経135度を基準とする日本とは6時間の時差がある。そのため、日本が正午（12時）のとき、メッカは同日の午前6時となる。
問10	答え 3 オスマン帝国	バルカン半島は、歴史的にこのイスラーム国家の支配下に入ったことで、イスラームが伝播した。これにより、同地域ではカトリック、正教会、イスラームの3つの宗教が複雑に混在する状況が形成され、近代以降の民族・宗教対立の背景となった。